

ふるさと勝山回帰ショートムービー制作事業について

7月20日に開催した審査会において、日大芸術学部学生から提出のあった企画案のうち一次審査を通った26作品から最終5作品を選定。今後、作品制作に向けて勝山市の下見やロケを随時行っていきます。直近では8月10日から12日にかけて学生・教員15名が下見に入るため、取材等についてよろしくお願いします。

【審査合格作品】

- ・ドラマ部門 2作品
- ・フリースタイル部門 2作品
- ・アニメーション部門 1作品 (別紙参照)

【下見スケジュール】

学生・教員15名が訪問予定

- ・8月10日(金) 10:00 勝山着 13:00 市長表敬訪問 14:00 市内下見(バス)
- ・8月11日(土) まちなかイベント等を中心に下見・ロケ
- ・8月12日(日) 11:00 勝山発 19:00 東京着

問い合わせ

勝山市商工観光部 観光政策課

88-8117 (直通)

勝山市ふるさと回帰ショートムービー審査合格作品一覧

25 田中 里美 ドラマ部門

(勝山市内部からの活性化。1人でも多くの人が故郷に連絡を取りたくなる作品。)

主人公に感情移入しやすいよう、サイレントにしました。また、出身が勝山市でなくても懐かしさを感じさせ、勝山市に対し興味が湧くPR 動画兼ドラマにしました。

27 湯浅 利紗子 フリースタイル部門

(VOICE!EGG POOL～勝山人の声を沸き上がらせよう～)

一人一人の内なる声を形にしてあなたの手で 声を沸きあげる、参加型インスタレーションです。あなたの声を白い卵に描きこんで、プールをいっぱいにしましょう!

30 近藤 将太 ドラマ部門

(勝山へ帰ってくる人を待つ女性とこれから勝山を一度出ようとしている男性の交流。)

冬、雪の積もったえちぜん鉄道勝山駅を舞台にしており、駅舎のレトロな雰囲気と雪景色といった魅力を伝えることができる。登場人物たちの勝山への思いも表現する。

31 鮫川 愛実 フリースタイル部門

(映像と音楽の変化の中で勝山の鮮やかさ、大胆さ、美しさを伝える)

作品で使われる音楽には勝山で聞こえる音を盛り込み、
伝統と革新の入り混じる町並みを鮮やかな色彩としてとらえたポップでパワフルなミュージカル映画

37奥津 加奈子 アニメーション部門

(若者に故郷を意識してもらうこと。)

「行くな」と言われるより「行けばいい」と言われる方が戻ってきたくならないかという逆転的な考え方をしたこと。